

都市レジリエンス向上に向けた土地利用シナリオ分析 Land use scenarios: An analysis of urban resilience

山形 与志樹^{1*}; 村上 大輔¹
YAMAGATA, Yoshiaki^{1*}; MURAKAMI, Daisuke¹

¹ 国立環境研究所
¹National Institute for Environmental Studies

今後の気候変動に伴う災害リスクのグローバルな上昇が予測されており、人口成長/縮退といった今後の社会経済シナリオ等も勘案しながら、全球、国、都市といったあらゆる空間スケールで災害に適応していくこと重要となる。本研究では、都市・地域スケールにおいて災害リスクへの緩和策と適応策を導入することの効果、経済均衡モデルの一つである土地利用交通エネルギーモデルを用いて分析する。具体的には、CO₂ 排出削減等の緩和策の一つとして知られるコンパクト化政策と河川氾濫リスクの高い地域の居住者を減らそうという適応策に着目し、それらの有無が被災時の損害額に及ぼす影響を、東京大都市圏を対象に評価する。また、政策の有無が土地利用に及ぼす影響についても分析する。以上を踏まえ、都市レジリエンスについて考察する。

キーワード: 都市レジリエンス, 土地利用シナリオ, 社会経済シナリオ, 災害リスク
Keywords: urban resilience, land use scenario, socioeconomic scenario, hazard risks